



セーフィー株式会社

東証グロース 4375



2025年12月期
第2四半期
決算説明資料

August 8, 2025



セーフィー株式会社

映像から 未来をつくる

家から街までをデータ化し、インフラとし、
あらゆる人やモノの意思決定に役に立つ
プラットフォームに

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年12月期第2四半期実績
3. 事業戦略アップデート

Appendix

1. エグゼクティブサマリー

-  [セーフィー IR サイト](#)
-  [セーフィー IR ライブラリー](#)
-  [事業計画及び成長可能性に関する事項](#)

2025年Q2業績実績

2025年Q2売上高

44.8億円
前年同期比 +32.1%

2025年Q2売上総利益

22.6億円
前年同期比 +32.9%

2025年Q2調整後営業利益*1

0.7億円
二四半期連続黒字化達成

エグゼクティブサマリー

■ 2025年12月期第2四半期も調整後営業利益黒字化を連続で達成

あらゆる業界で顧客あたり売上高向上に寄与する現場DXソリューションの導入が拡大

■ 決算サマリー（2025年Q2実績）

- ✓ 売上高は前年同期比32.1%増、売上総利益は前年同期比32.9%増、2025年第1四半期に続き、**二四半期連続で調整後営業利益において黒字化を達成**
- ✓ スポット収益は13.4億円で前年同期比50.1%増、リカーリング収益は前年同期比25.7%増で成長

■ 中長期的な売上成長加速に向けたビジネスアップデート

- ✓ 「8掛け社会」*2の到来に向け、労働力を補完するため映像・AI活用に期待が集まる
- ✓ 既設（オンプレ）カメラ市場を攻略する「Safie Trail Station」の導入も順調に推移。各業界でカメラとソリューション導入による現場DXが進行し、顧客あたり単価の向上に寄与、今後、非連続な成長が期待可能なフェーズへ
- ✓ AIソリューションプラットフォーム事業は実証実験を推進し、事業化に向けて着実に進行

■ 2025年Q3業績見込

- ✓ パイプラインが順調に積み上がり、リカーリング収益の積み上げで売上成長を牽引
- ✓ エンタープライズ顧客獲得のため、販売促進費は増加予定

■ 2025年通期業績見込

- ✓ 通期業績予想に変更なし

*1 調整後営業利益＝営業利益＋株式報酬費用＋M&Aにより生じた無形資産の償却費用＋その他一過性費用（その他一過性費用としてNEDO公募案件採択に伴い新たに発生する外注費などを調整）

*2 2040年時点で生活維持サービス職種（建設・物流・販売・工場・介護・医療・飲食）の生産年齢人口（15～64歳）が現在の8割になること

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年12月期第2四半期実績
3. 事業戦略アップデート

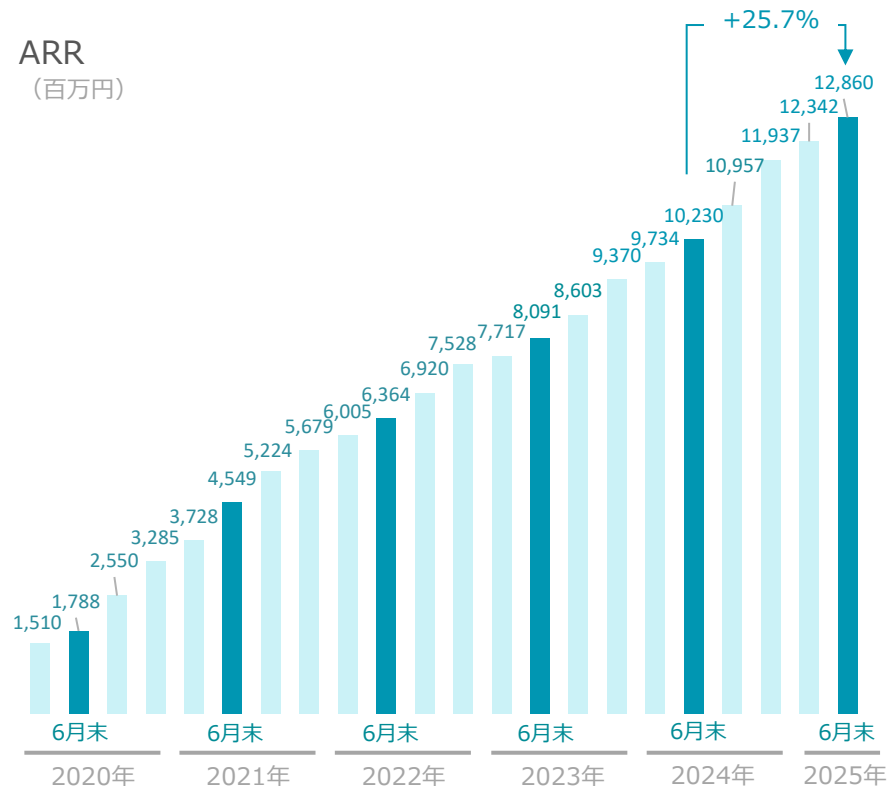
Appendix

2. 2025年12月期 第2四半期実績

ARRは前年同期比で25.7%成長し128億円、課金カメラ台数は31.9万台に到達

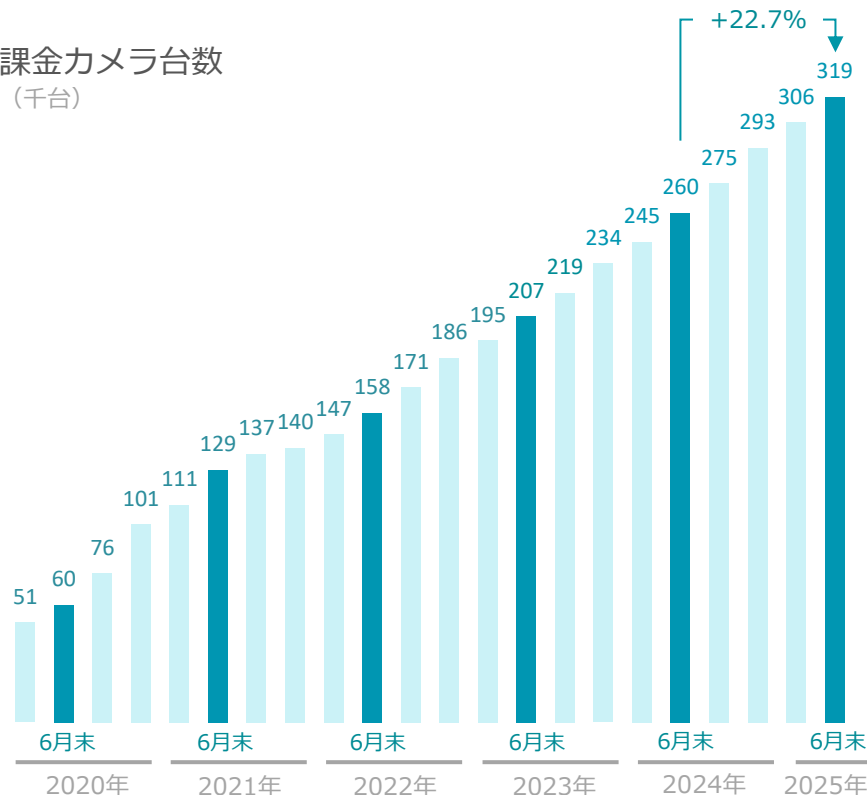
ARR

(百万円)



課金カメラ台数

(千台)

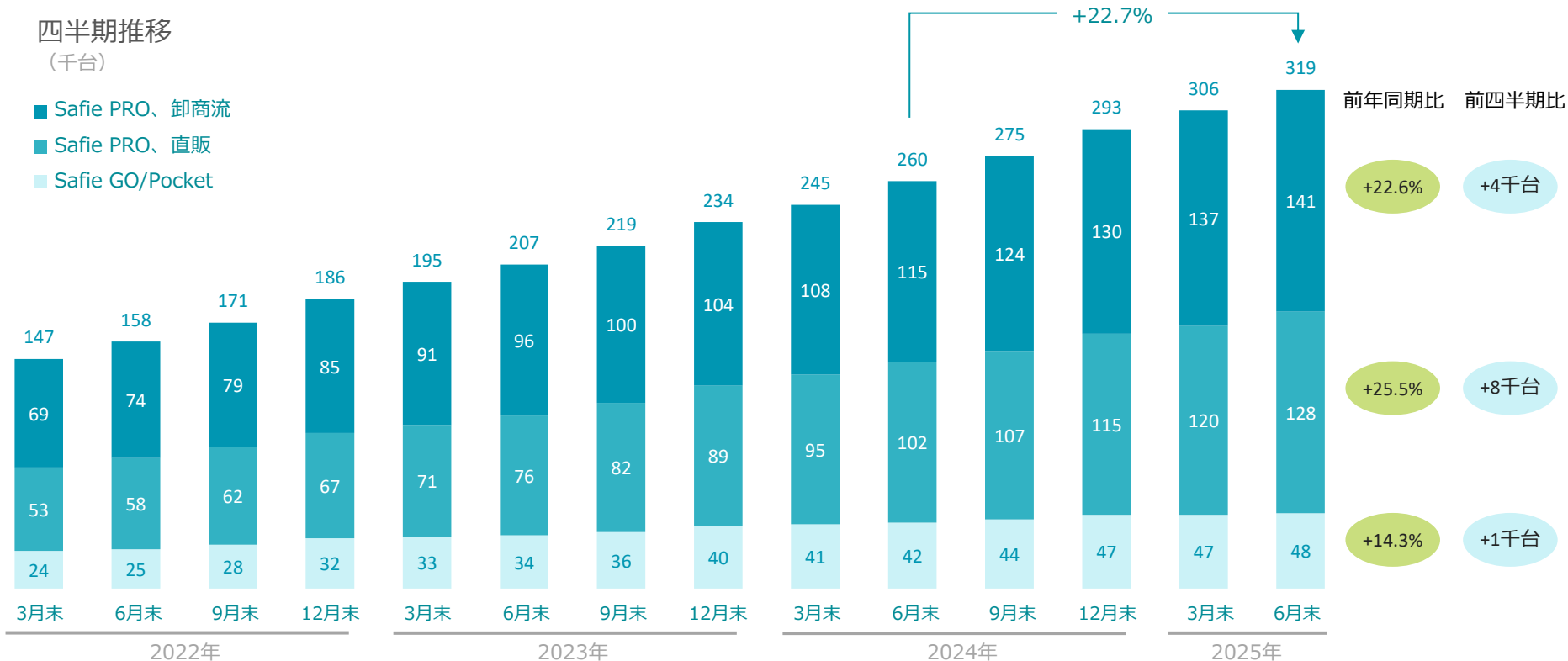


エンタープライズ企業での導入が進行し、Safie PRO直販が順調に推移

四半期推移

(千台)

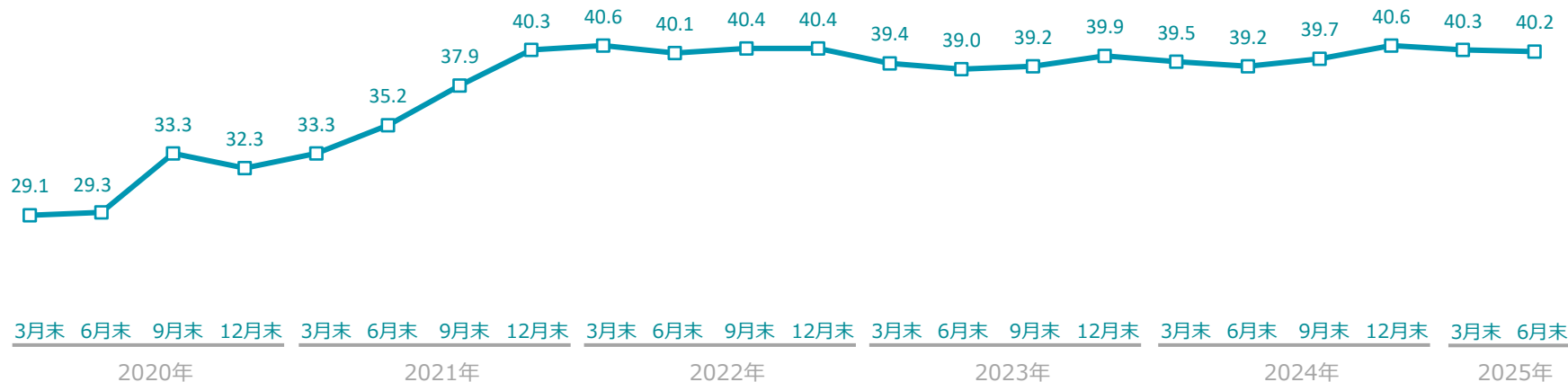
- Safie PRO、卸商流
- Safie PRO、直販
- Safie GO/Pocket



比較的単価が低いSafie PROシリーズの製品構成比が上がったことでARPCが低下

四半期推移

（千円）

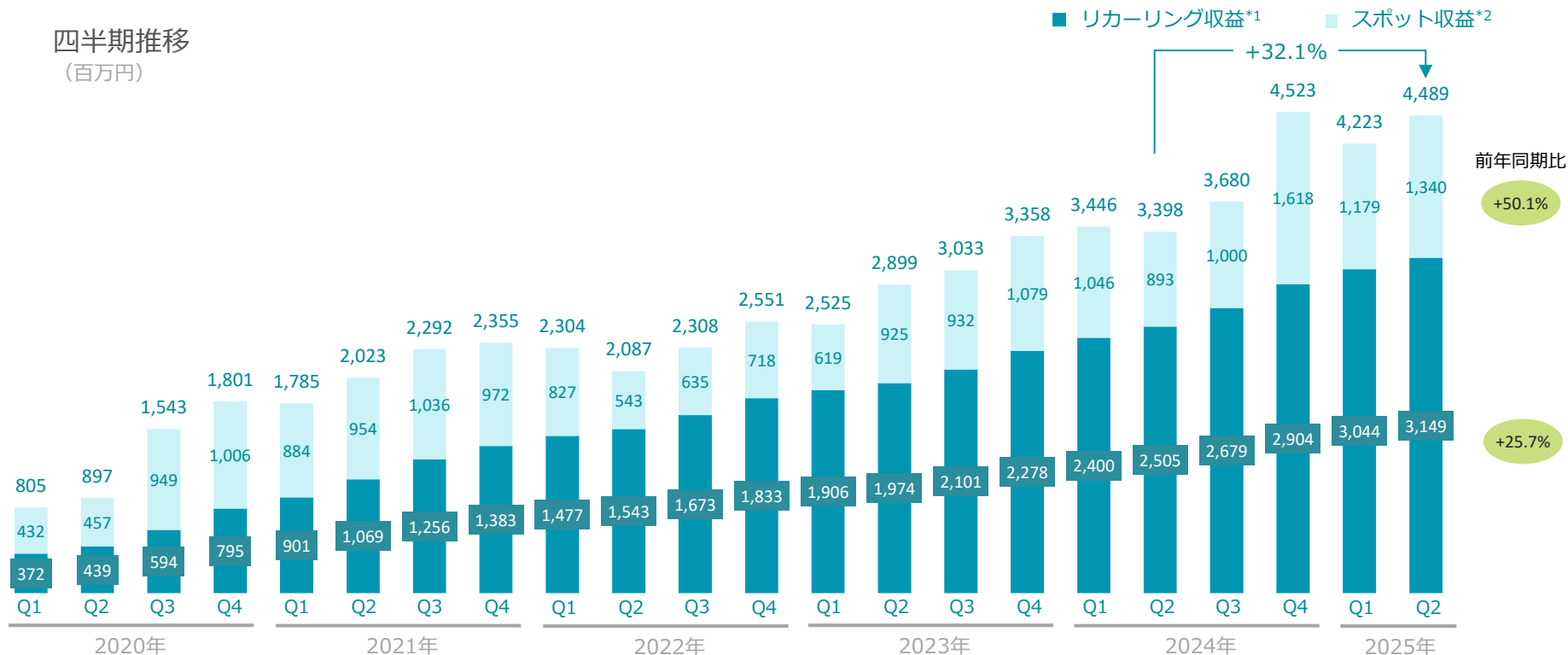


*1 ARPCはAverage Revenue per cameraの略。ARPC=ARR÷課金カメラ台数

スポット収益は13.4億円で前年同期比50.1%増

リカーリング収益は前年同期比25.7%成長し、売上高全体では前年同期比32.1%増を達成

四半期推移
(百万円)



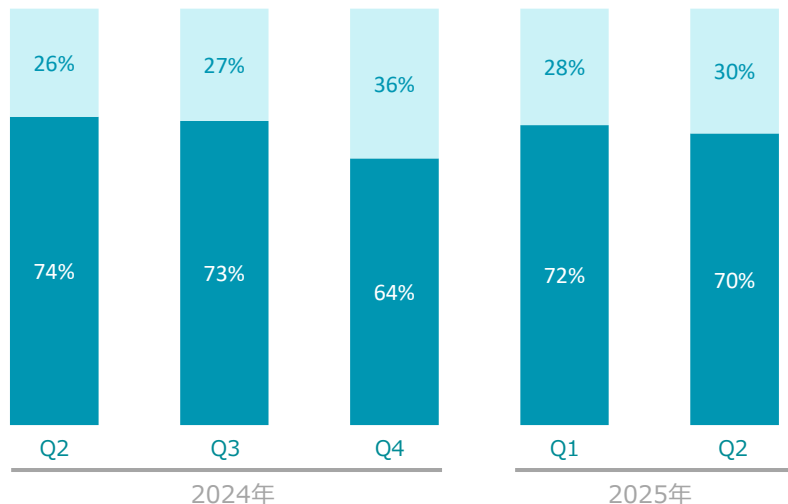
*1 リカーリング収益には、クラウド、アプリケーション、レンタル、SIM等が含まれる

*2 スポット収益には物販、カメラ設置工事等が含まれる

一部カメラの販売価格の引き上げや工事関連の収益性が改善し、スポット粗利率は前四半期比で向上
また、クラウドコストの最適化により、リカーリング粗利率も向上

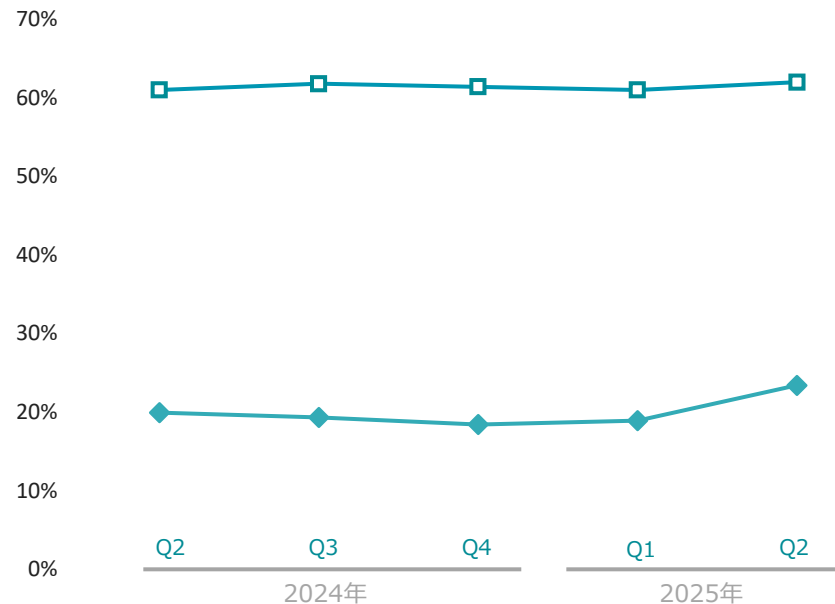
売上高構成比（四半期）

- リカーリング*1
- スポット*2



粗利率の推移

- リカーリング*1
- ◆ スポット*2



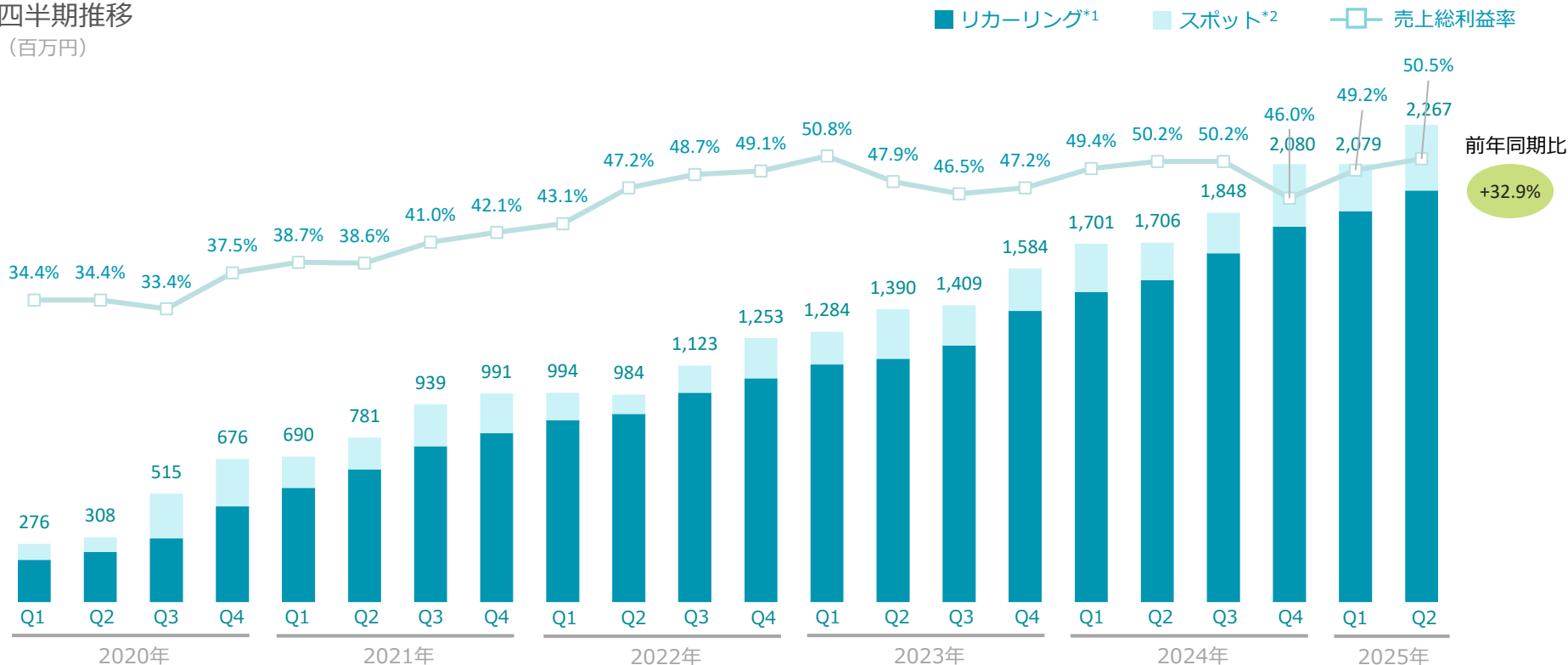
*1 リカーリング収益には、クラウド、アプリケーション、レンタル、SIM等が含まれる

*2 スポット収益には物販、カメラ設置工事等が含まれる

売上総利益は増収と収益性の改善により、前年同期比で32.9%成長。売上総利益率は50.5%を達成

四半期推移

(百万円)



*1 リカーリング収益には、クラウド、アプリケーション、レンタル、SIM等が含まれる

*2 スポット収益には物販、カメラ設置工事等が含まれる

第2四半期も引き続き、NEDO関連の研究開発費を含むR&D費用が増え、売上高比率も増加 なお、営業利益に対する調整対象となるNEDO関連の外注費等109百万円を含む

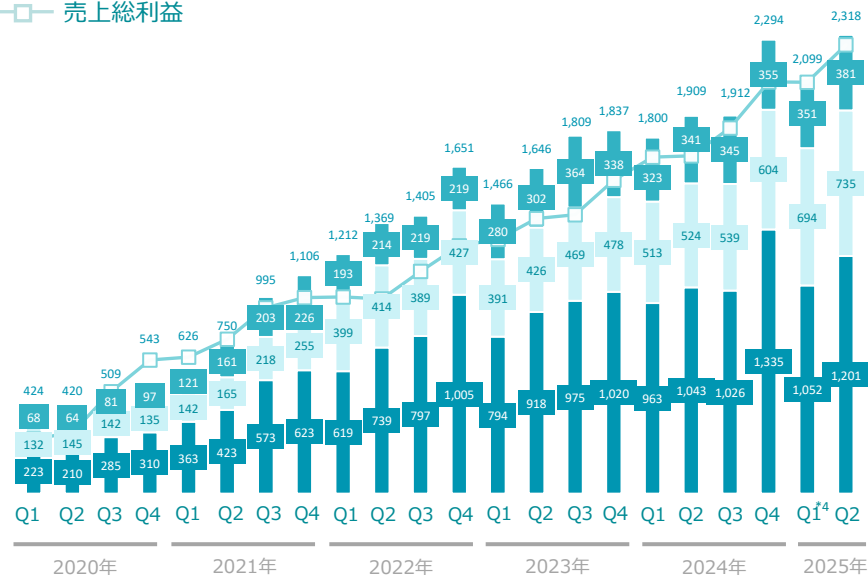
四半期推移

(百万円)

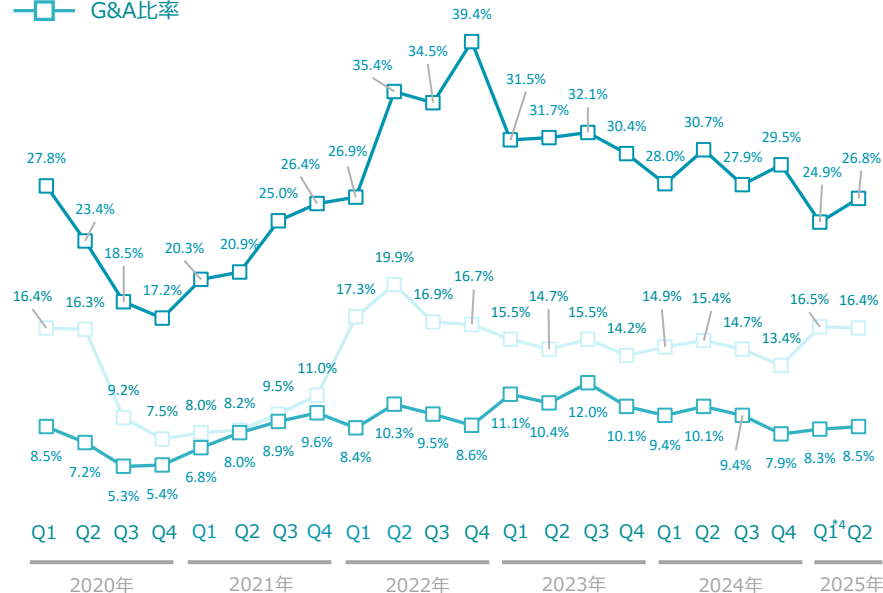


増減要因 (前四半期比)

- ・ S&M 広告宣伝費の増加
- ・ R&D 研究開発費の増加
- ・ G&A 採用費を含む人件費の増加



売上高比率



*1 S&Mとは、Sales and Marketing。販売促進費、広告宣伝費、セールス関連人件費、その他関連経費及び共通費等の合計
 *2 R&Dとは、Research and Development。研究開発にかかるエンジニア人件費、外注費用、その他関連経費及び共通費等の合計
 *3 G&Aとは、General and Administrative。管理部門の人件費やその他関連経費及び共通費等の合計

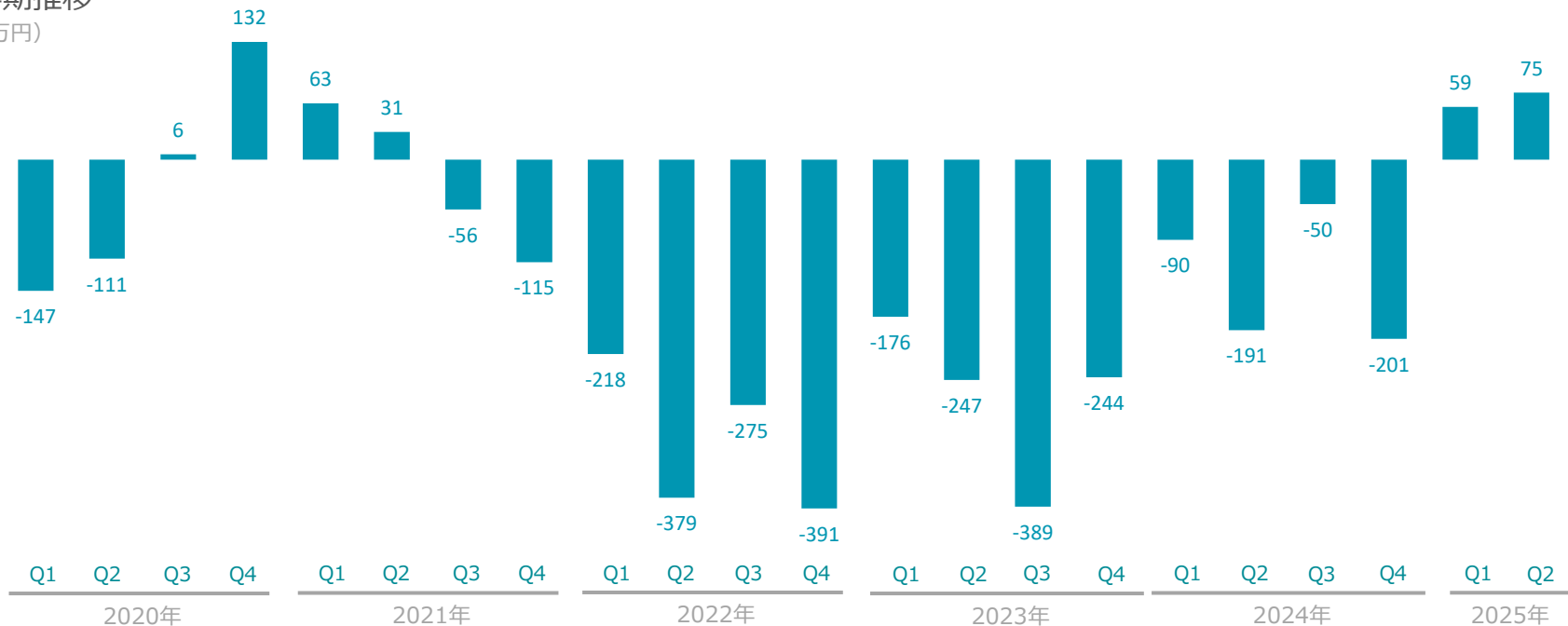
*4 FY2025Q1よりその他一過性費用（NEDO関連の委託費）を含む

第2四半期の調整後営業利益は75百万円

調整後営業利益において第1四半期に引き続き連続で黒字化を達成

四半期推移

(百万円)



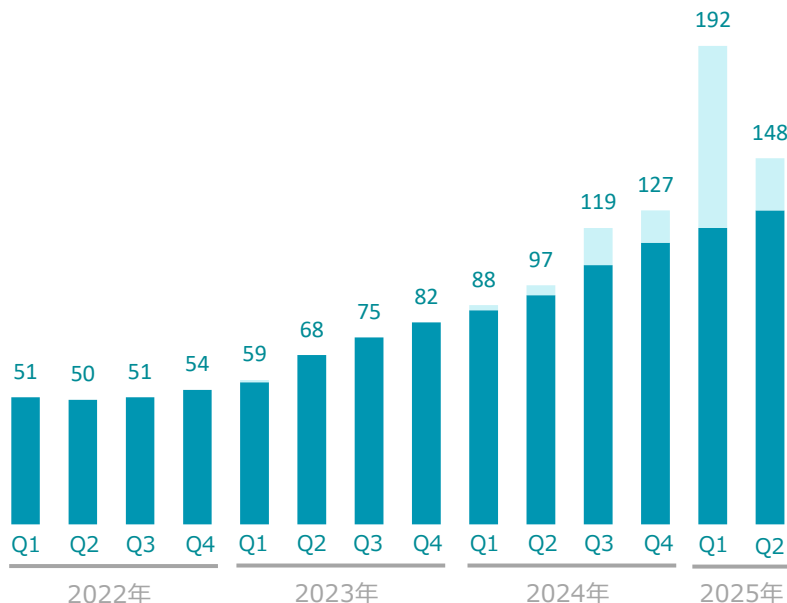
*1 調整後営業利益 = 営業利益 + 株式報酬費用 + M&Aにより生じた無形資産の償却費用 + その他一過性費用（その他一過性費用としてNEDO公募案件採択に伴い新たに発生する社外流出の外注費などを調整）

エンタープライズ顧客への将来的な導入を想定したソリューションの実証実験が進展
顧客の多様なニーズに応える様々なソリューションの活用が進行中

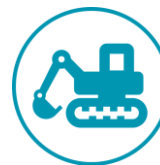
ソリューション売上高*1推移

(百万円)

■ リカーリング*2 ■ スポット*3



2025年Q2実績



大手建設会社・AIベンダーとの三社協業により
業界共通の課題である安全管理に向けた実証を実施
将来的な実用化を見据えた売上を獲得



自治体に加え建設会社各社でも
交通量調査を映像×AIで手軽かつ身近で実現する
「**Safie Survey**」の活用が広がる



小売・サービス業において**AI-App**の導入が拡大中
店舗運営の現場課題解決において
映像データの利活用が進んでいる

*1 AI-App等のアプリケーション、映像機能を拡張する各種オプション、及び映像活用サービス等の売上の合計。リカーリング収益及びスポット収益どちらも含む

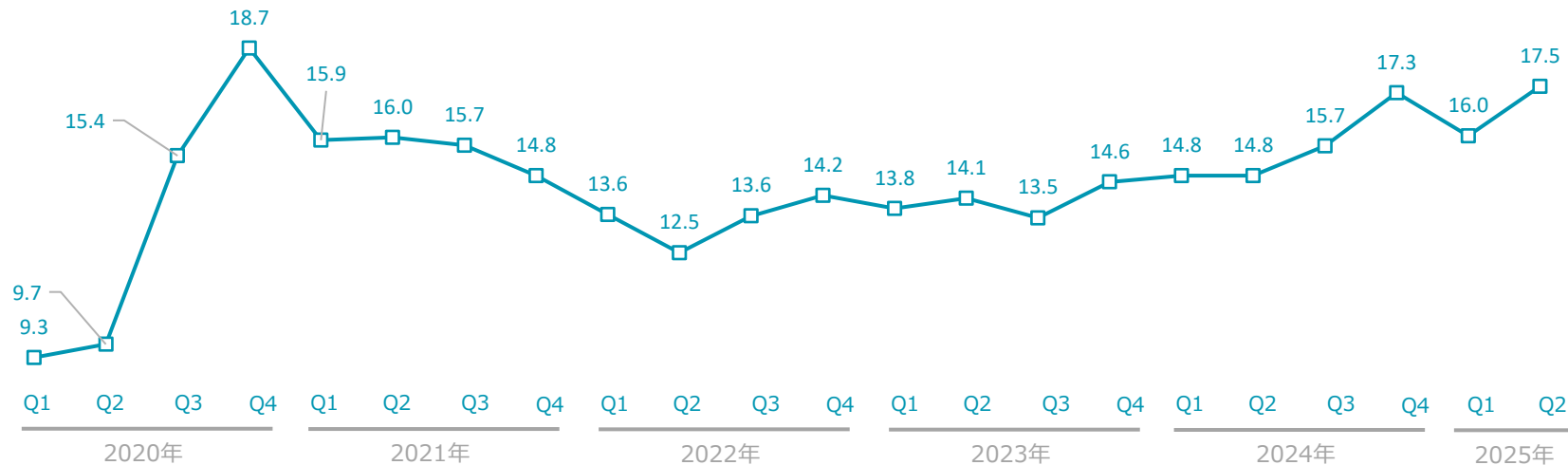
*2 リカーリング収益には、AI-App等のアプリケーションや各種オプション等が含まれる

*3 スポット収益には、Safie Survey等の調査業務や個別カスタマイズの受託開発案件等が含まれる

エンタープライズ領域への展開とラインナップの拡充を通じて「稼ぐ力」が向上し
一人あたりの粗利額も順調に成長

一人あたり粗利額*1

(百万円)



*1 (各四半期粗利額×4) ÷ 翌四半期初社員数

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年12月期第2四半期実績
3. 事業戦略アップデート

Appendix

3. 事業戦略アップデート

現場 DX

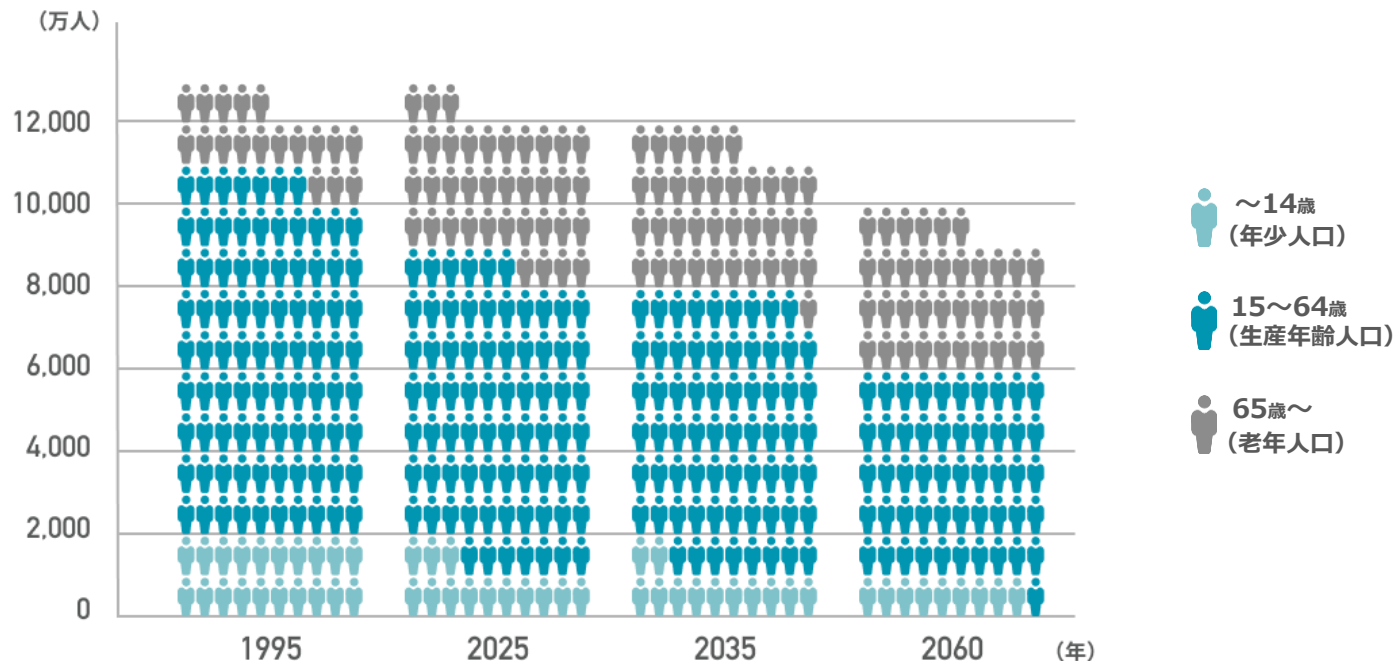
Powered by  safie

映像データで
あらゆる産業の現場を
DX デジタル
トランス
フォーメーション **する**



生産年齢人口はピーク時の8,500万人超から、将来的に約5,000万人へと激減する

日本全国の人口の推移



*1 国立社会保障・人口問題研究所：「Ⅱ 推計結果の概要 - 国立社会保障・人口問題研究所」

2040年には日本全国の労働需要に対し、2030年に341万人余、2040年に1,100万人余の労働供給が不足*1



販売

▼ **24.8%**^{*2}

2040年時点での
労働需要：438.5万人
労働供給：329.7万人



飲食

▼ **15.1%**

2040年時点での
労働需要：374.8万人
労働供給：318.1万人



建設

▼ **22.0%**

2040年時点での
労働需要：298.9万人
労働供給：233.2万人



物流

▼ **24.2%**

2040年時点での
労働需要：413.2万人
労働供給：313.4万人



工場

▼ **13.3%**

2040年時点での
労働需要：845.0万人
労働供給：732.6万人



介護

▼ **25.3%**

2040年時点での
労働需要：229.7万人
労働供給：171.7万人



医療

▼ **17.5%**

2040年時点での
労働需要：467.6万人
労働供給：386.0万人

*1 リクルートワークス研究所：「未来予測2040 労働供給制約社会がやって来る」

*2 労働供給不足率 = 2040年時点での労働供給 ÷ 2040年時点での労働需要

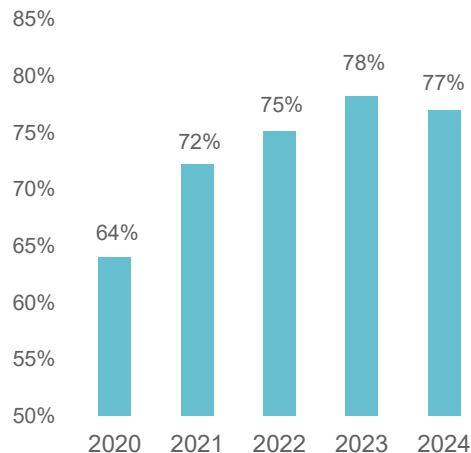
小売・サービス業界の 勝ち筋戦術



店舗運営の 効率化

セルフ精算レジ（セミセルフレジ）が増加

セミセルフレジ設置率*1



店舗の 危機管理

窃盗やカスハラが増加する中、
防犯カメラを様々なリスク管理用途で活用

犯罪の証拠として

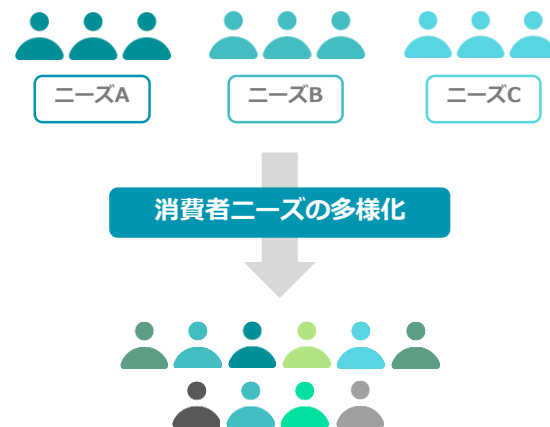
犯罪の抑止として

従業員の不正をチェック

会計時のトラブル抑止

顧客行動の 把握

データ取得・定量化・分析により
多様化する消費者ニーズに対応



*1 一般社団法人 全国スーパーマーケット協会「2025年度 スーパーマーケット白書」、年商10億以上で食品売上構成比が50%以上の企業（ただし食品比率が50%以下でも大手小売業は含む）を対象とし、全国23,039店舗から選出

既設カメラのクラウド化を含むカメラの多台数設置 × 映像 × AIで省人化を実現、顧客あたり売上高を向上

多台数設置 × ソリューション



1

セキュリティ対策

- ・ 再来店を自動検知

2

遠隔で防犯/警備

- ・ 店舗の危機管理を遠隔化

3

レジ待ち対策

- ・ 混雑緩和による顧客体験改善

4

遠隔接客

- ・ 専門スタッフ不足解消
- ・ インバウンド対応

5

マーケティング

- ・ 来店者数カウント

6

販売促進

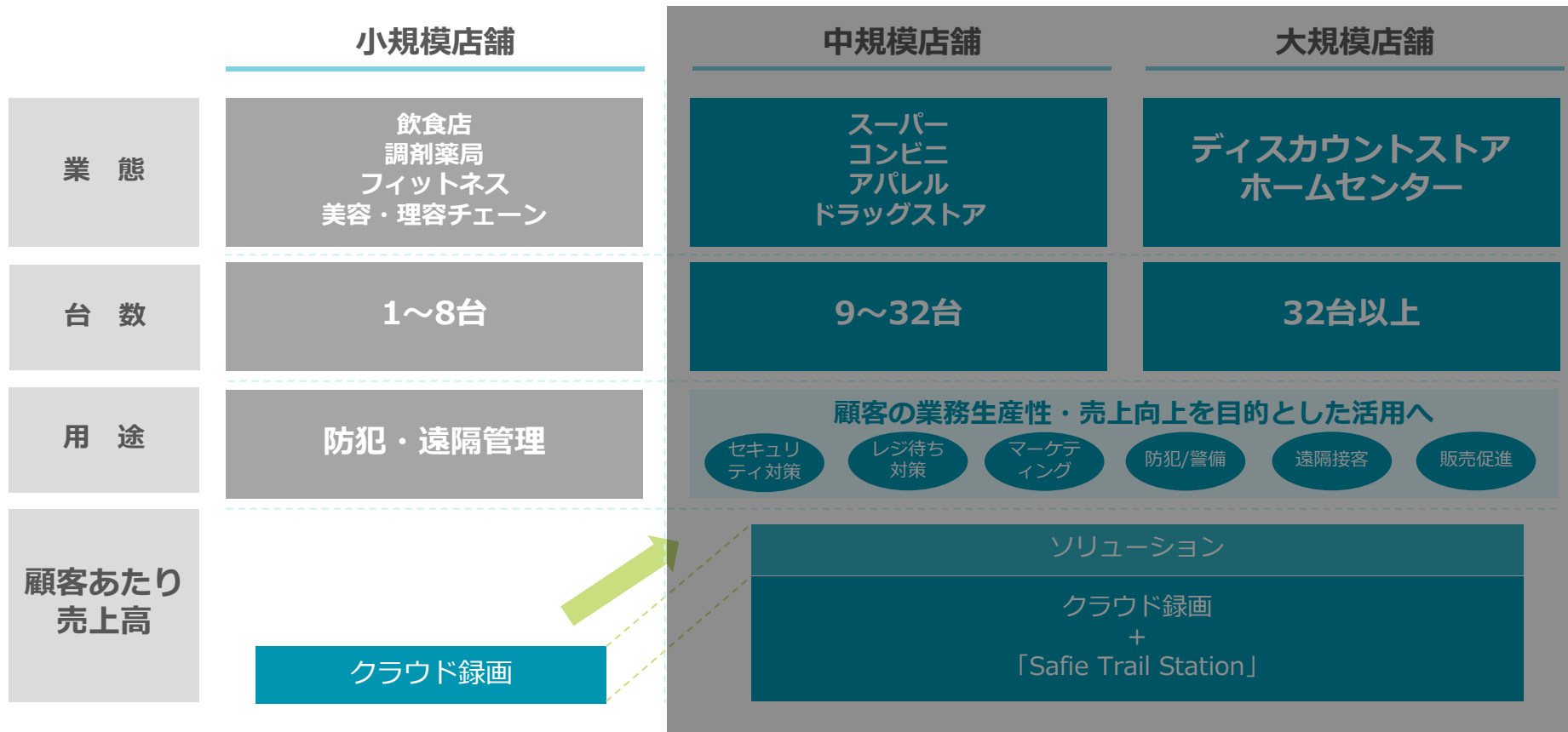
- ・ 棚割りや商品補充タイミングの最適化

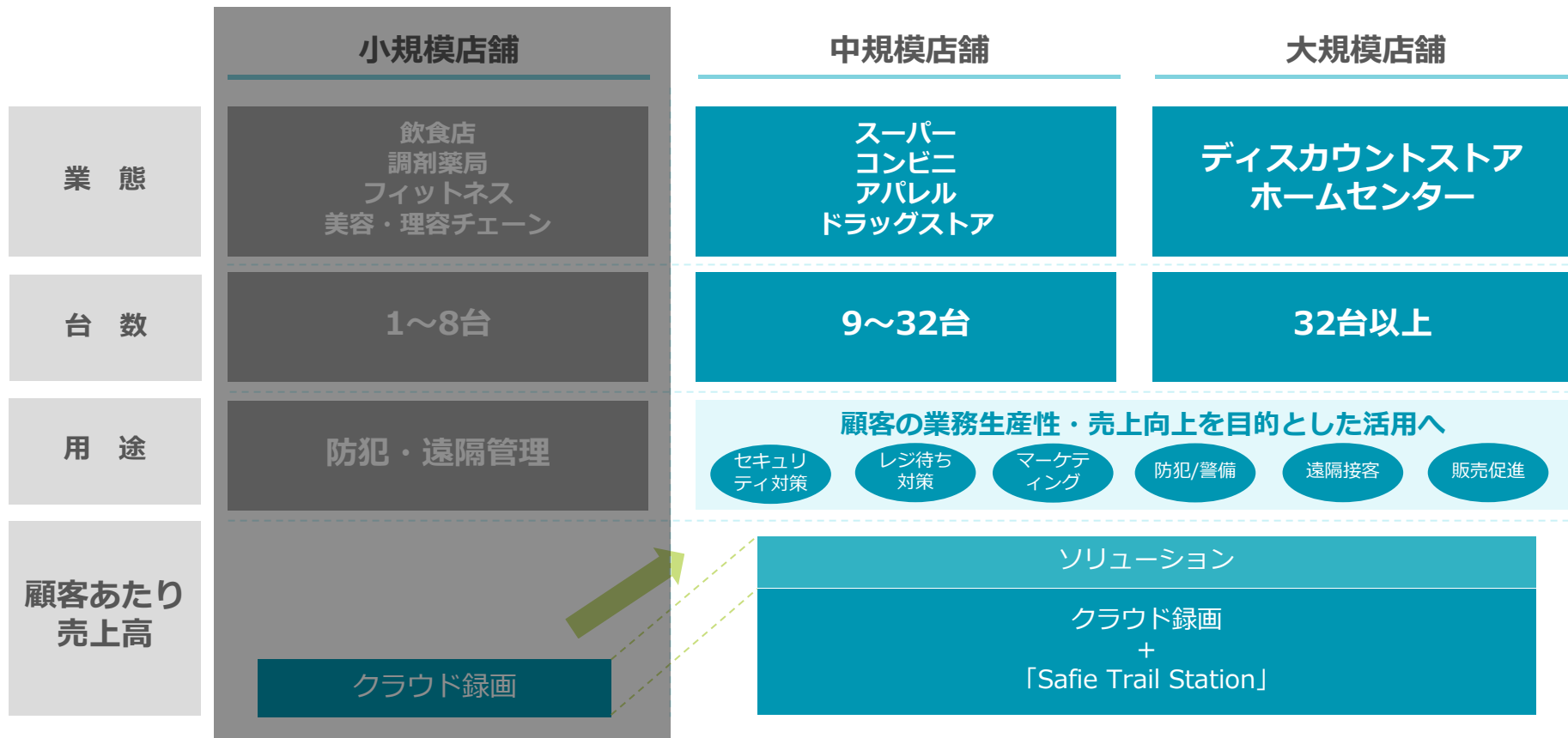
7

コミュニケーション支援

- ・ 業務を遠隔からインカムで指示

現場
DX
Powered by safie





クラウドカメラの多台数設置 × ソリューション展開による課題解決を起点とした、点・線・面戦術を実行

Step①

点を打つ

顧客課題に対し
サービスやソリューションで
取引開始

Step②

線に広げ

サービスやソリューションを
1店舗から多店舗に広げる

Step③

面を取る＝ 店舗丸ごと

新規店舗・既設店舗問わず
さまざまなサービスや
ソリューションを展開し
店舗丸ごとセーフティー化

下記の企業で段階的に進行中



マックスバリュ東海

- ・ 大手アパレル
- ・ 大手ディスカウント
- ・ 大手スーパー



Safie AI
People Count



人数カウント



@i-app

人物検索

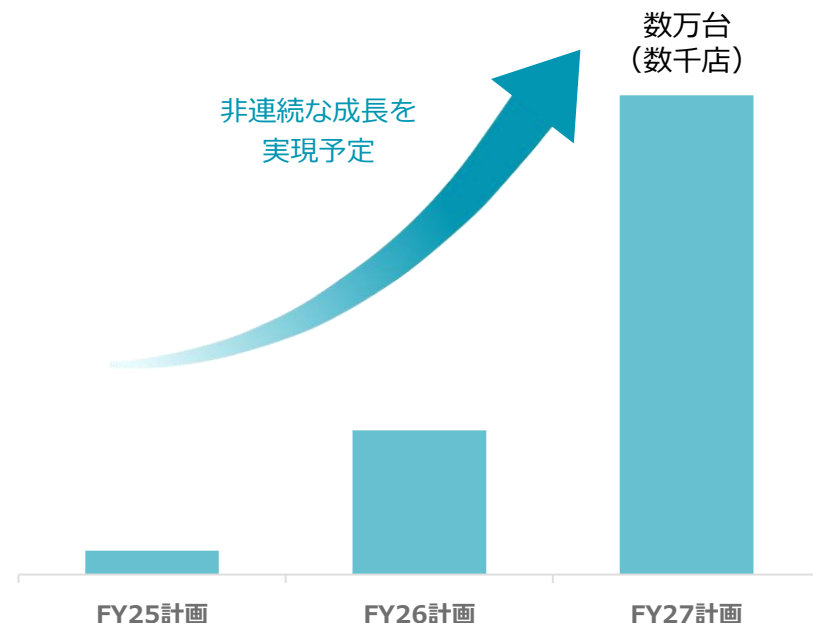


@i-app

店舗内のカメラをクラウド化する「Safie Trail Station」により1店舗あたりのカメラ台数導入が急拡大
ソリューション提供と掛け合わせることで、顧客あたり売上高の非連続な成長が見込まれる

大手ドラッグストア

提案中の課金カメラ台数（導入店舗数）の推移



safie Trail Station

セーフィー トレール ステーション

既設カメラに繋ぐだけ、
映像をいつでも・どこでも確認できる



立ち入り検知



通過人数カウント



店舗内のカメラをクラウド化によって、顧客課題を解決するソリューションの導入も拡大
点から線、面に広げる店舗丸ごとセーフティー化を推進中

大手ドラッグストア

市場動向

市薬品の遠隔販売が解禁し
ドラッグストア各社が関心を寄せる

- ・ 医薬品などの製造・販売ルールを
定めた「薬機法」改定
- ・ 2027年春から
薬剤師等による遠隔での管理の下で
薬剤師等が常駐しない店舗での
一般用医薬品の販売が可能となる
- ・ コンビニや自動販売機などで
ドラッグストア以外で
一般用医薬品の購入もできるように

店舗運営の効率化



遠隔接客ソリューション



コミュニケーション支援

店舗の危機管理



レジの混雑状況の可視化

顧客行動の把握



来店者数カウント

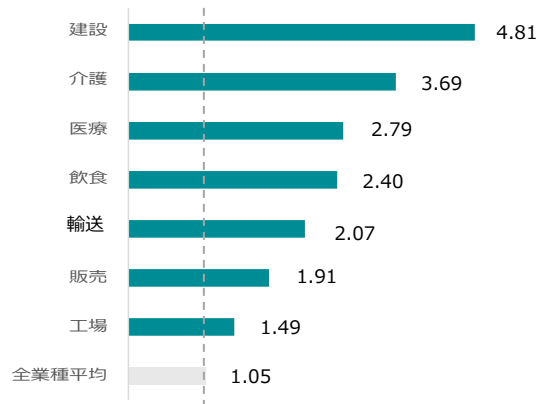
建設・インフラ業界の 勝ち筋戦術



生産性向上は 必須

長時間労働が許されない一方
労働力の供給は限界で生産性向上は必須

有効求人倍率*1



*1 厚生労働省「一般職業紹介状況（令和7年5月分）」について

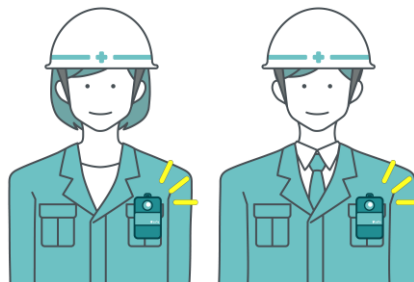
*2 厚生労働省 労働基準局「特定元方事業者による作業場所の巡視に係るデジタル技術の活用について」

*3 国土交通省「i-Construction 2.0 ～建設現場のオートメーション化～」

デジタル活用 に追い風

2024年6月を目処に
「アナログ規制」の見直しが完了
カメラを活用した「遠隔巡視」の需要が拡大

週1回の直接現場訪問と「遠隔巡視」で
毎作業日に1回の現場訪問代替が可能*2に



AIによる 省人・自動化

国土交通省は2040年度までに
省人化3割を目指す旨を発表*3
業界の課題解決にAI活用を期待



3Dモデルを
瞬時に作成



危険予知
活動の高度化



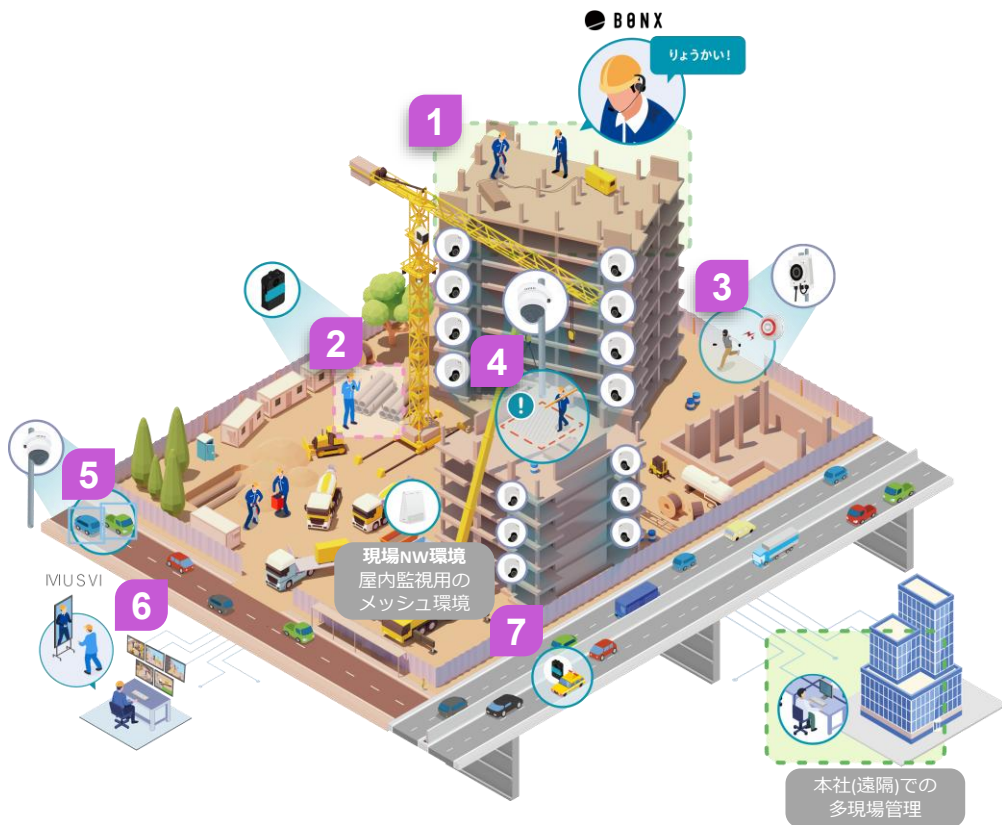
建設機械の
自律制御



非構造化
データの
ノウハウ化

多台数カメラ設置と複数ソリューションにより利便性の高い建設業界の現場DXを実現

多台数設置 × ソリューション



1 工事進捗の把握
・多台数のカメラを
活用し進捗確認

2 遠隔臨場 / 検査
・管理コストの削減

3 遠隔で防犯/警備
・資材盗難防止

4 不安全行動の
自動検知
・危険エリアへの
侵入抑止

5 交通量調査
・映像×AIで人手を
かけず自動計測

6 コミュニケーション
支援
・トラブルをセンサー
で検知しインカムと
「窓」で即時指示

7 高速道路の維持管理
・映像にキロポスト
表示で位置情報を
即座に把握

クラウドカメラのデファクト設置 × ソリューション展開による遠隔施工管理を実現するだけでなく、
着工前の施工管理から竣工後のメンテナンスまでのプロセス全体の可視化・管理を目指す

Step①

着工現場の施工管理に
まずはカメラを活用

現場カメラの
デファクト化を進行

Step②

映像×複数ソリューションで
遠隔施工管理モデルを構築

大規模や複雑な現場の
施工管理を可視化

Step③

建設後も含めた
全工程を可視化・管理

着工前の施工管理から
竣工後のメンテナンスまでの
一連のプロセスを継続的に管理

下記の企業で段階的に進行中



あなたの誇りを建てる。



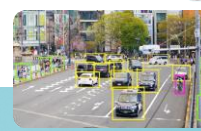
100年をつくる会社



インフラ、街づくり

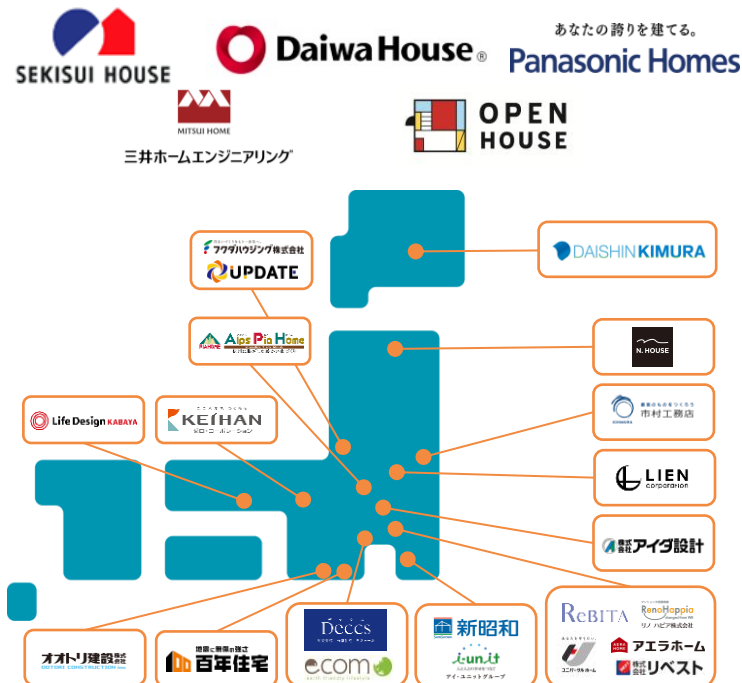


人数カウント



建設現場での標準化の実績とノウハウを活かし、周辺領域のハウス業界でも導入進行中

大手から地場のハウスメーカーとの取引を順調に拡大



屋内外でカメラを使い分け「遠隔巡視」*1を実現

safie Pocket

セーフィー
ポケットシリーズ



躯体検査



safie GO 360

セーフィーゴー
サンビャククロクジュウ



安全パトロール

現場
DX
Powered by safie

*1 「Safie Pocket2」「Safie Pocket2 Plus」は遠隔巡視に必要とされる性能要件を満たしており、「Safie GO 360」との併用でさらに安全性かつ生産性が向上した遠隔巡視の活用が可能

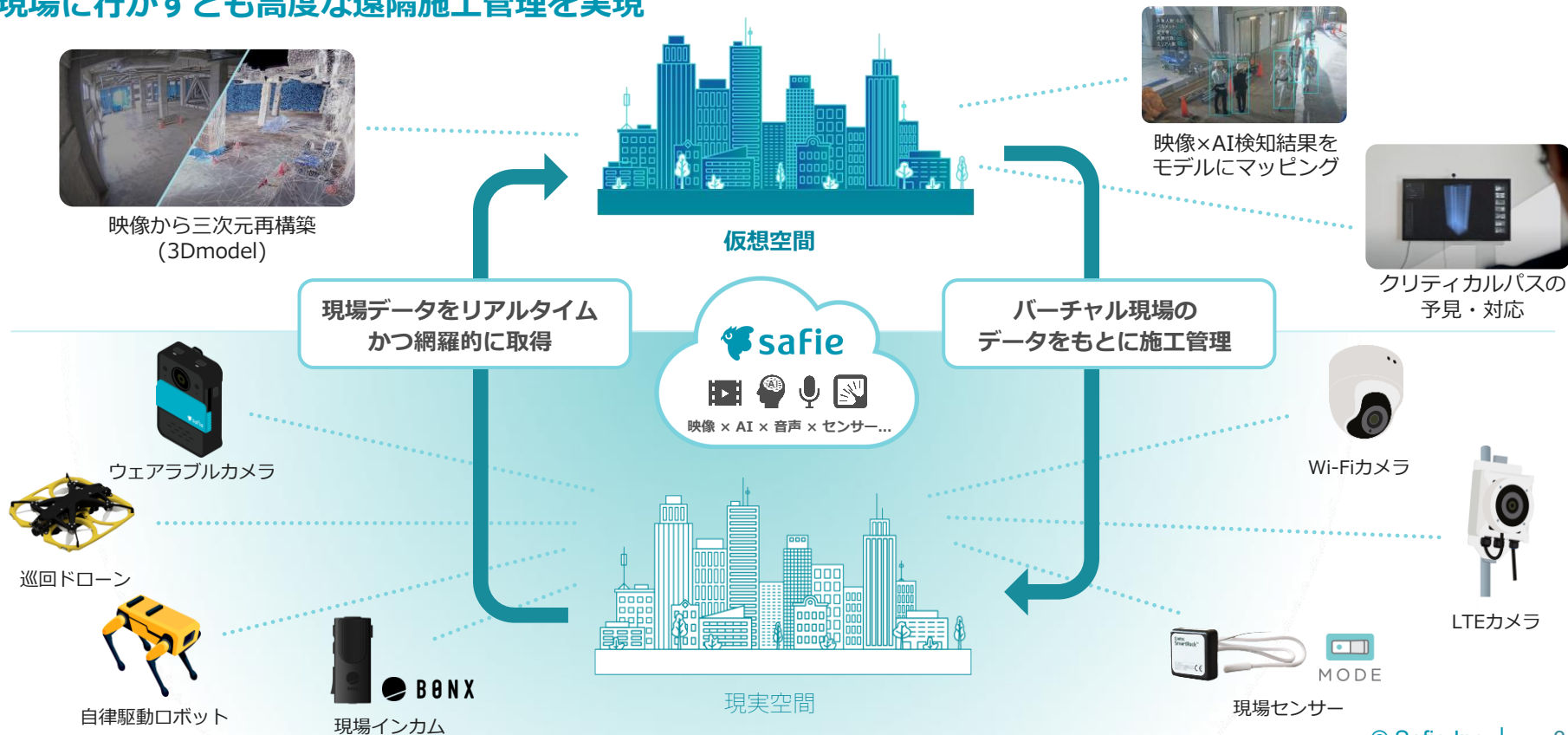
あらゆる建設現場の映像データと、AI・音声・センサーを融合した高度なデータ利活用を推進



例：映像×センサー×音声情報により遠隔でシームレスなコミュニケーションを実現



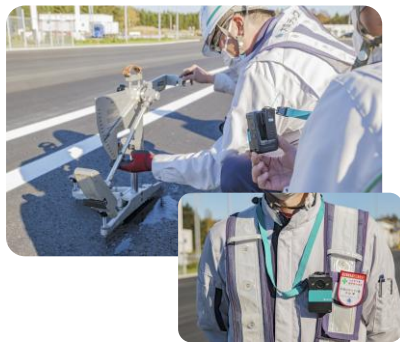
網羅的に取得した現場の映像・AI・音声・センサーデータからプラットフォーム上でデジタルツインを構築し現場に行かずとも高度な遠隔施工管理を実現



着工前の施工管理から竣工後の保守・点検・メンテナンスまでの一連のプロセスを継続的に管理
インフラ業界でのLTV向上へ

着工前

本線管理/工事

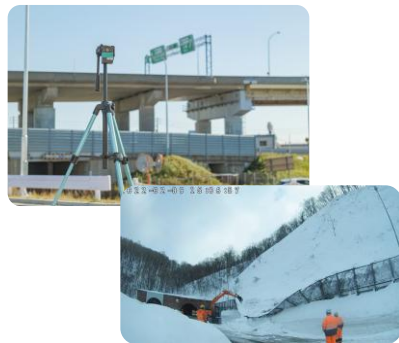


メンテナンス工事にて
遠隔臨場を実現

立会業務の移動時間、
6割削減の実現へ

竣工後

冬季の雪氷対策



冬季における
作業現場の雪氷対策に活用

被害状況も作業進捗も
映像で即時に把握

安全パトロール



キロポスト表示オプション
にて位置情報を瞬時に把握

現場と管理側の情報共有が効率化
迅速な意思決定を実現

維持管理

料金所内・ 周辺状況の確認



高速道路の料金所内と
周辺にカメラを常設

夜間の警備・防犯
見守りを実施

より迅速かつ容易に個別最適化したAIを生み出すプラットフォーム構築事業がNEDOが公募する案件に採択

採択の概要

- 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した「データ・生成AIの利活用に係る先進事例に関する調査」において第一号案件として採択
- セーフィーが創業以来取り組んできたプラットフォーム構築を今回の採択によってさらに推進
- 本事業への投資に対して
主に2025年度に最大8.9億円の委託費を受ける予定



セーフィーが採択された理由



31万台超の
稼働カメラ



膨大な映像データ



自社開発の
高い技術力



データホルダーとの
協業

プラットフォームの基盤開発及び実証実験を予定通り進行中

不安全行動検知



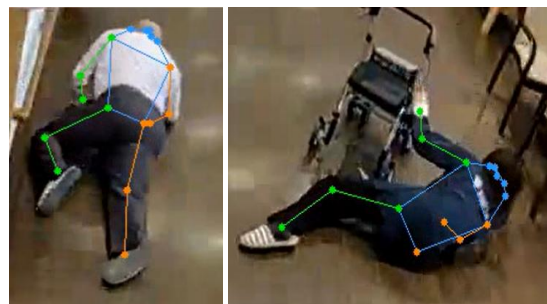
クレーンにカメラを設置し、人が安全対策を適切に行っているかを検知しレポート



転倒検知



介護施設内に複数台カメラを設置し、転倒を検知して通知



データ利用を簡単に、AI生成・再学習を簡単に実現できるプラットフォーム構築をし、
AIビジネスの新規創出を加速

業界課題

建設

不安全行動

長時間労働

小売

長時間労働

窃盗/万引き

警備

犯罪

道路

道路混雑

交通事故多発

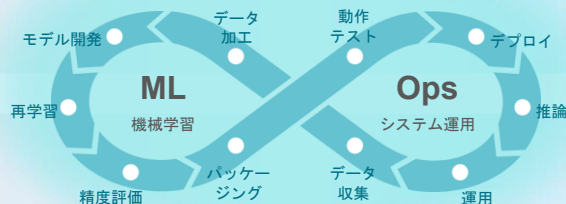


データホルダー
(カメラ映像)

AI開発者

safie

クラウド
プラットフォーム



AIソリューション



安全帯
検知



作業効率
可視化



省人/無人
店舗



万引き
削減



無人警備



道路状況
可視化



2025年12月期第2四半期実績

- 売上高は直販が好調で
前年同期比32.1%成長、44.8億円で着地
- 調整後営業利益は75百万円となり
二四半期連続の黒字化を達成
- 2025年通期業績見通しに変更なし



あらゆる業界で顧客あたり売上高を向上する 現場DXソリューションの導入が拡大

- 8掛け社会の到来に向け
労働力を補完するため映像/AI活用に期待が集まる
- 「Safie Trail Station」を皮切りに各業界で
カメラとソリューション導入が進行。
AIソリューションプラットフォーム起点の事業創出により
顧客あたり売上高や付加価値の向上が期待され、
今後非連続な成長フェーズへ



映像から未来をつくる

1. エグゼクティブサマリー
2. 2025年12月期第2四半期実績
3. 事業戦略アップデート

Appendix

Appendix

労働力不足の解消や生産性・利便性向上を促進するため、
法律で定められた9,669条項の規制の緩和・撤廃が進み、セーフィーも現場業務のDX化を積極的に提言*1

9,669 条項

代表的なアナログ規制7項目

- (1) 目視規制 (2,927)
- (2) 実地監査規制 (74)
- (3) 定期検査・点検規制 (1,034)
- (4) 常駐・専任規制 (1,062)
- (5) 書面掲示規制 (772)
- (6) 対面講習規制 (217)
- (7) 往訪問覧・縦覧規制 (1,446)



*1 セーフィーが所属する建設DX研究所は、総理大臣官邸で開催された「国内投資拡大のための官民連携フォーラム」で、建設DX推進のための政府への提言などにつき発表

薬機法改正により一般用医薬品の薬局外での販売やオンライン販売機会が増大、医療分野でのDX推進に期待

- 2025年5月21日に「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の一部を改正する法律（薬機法）」が公布、6ヶ月以内に段階的に施行される。
- 改正の目的は、不正事案の発生や**医薬品の供給不足、創薬環境の変化**などの状況に対応し引き続き**品質の確保された医薬品**等を国民に迅速かつ適正に提供すること。
- 規制対象として、医薬品の他に医療機器や化粧品、医薬部外品、再生医療等製品も含まれる。
- 主な変更点は下記4点
 - 医薬品等の品質及び安全性の確保の強化**
 - GMP違反など重大な法令違反への対応、虚偽報告等への罰則、製造販売業者への監視・報告体制強化
 - 医療用医薬品等の安定供給体制の強化**
 - 供給停止時の対応や安定確保義務の明文化、備蓄要請や供給調整の法的根拠整備
 - より活発な創薬が行われる環境の整備**
 - 条件付き早期承認制度の恒久化と対象の拡大、治験前相談制度（Early Phase Consultation）の整備
 - 国民への医薬品の適正な提供のための薬局機能の強化**
 - 一般用医薬品の受渡場所の拡大**
薬局開設者や**店舗販売業者以外の者**が登録受渡業者として登録を受け一般用医薬品の引き渡しが可能となる制度（受渡店舗制度）を導入。
 - 要指導医薬品のオンライン服薬指導解禁**
薬剤師の判断により要指導医薬品は**オンライン服薬指導後に販売可能**に。
対面での確認が特に必要とされる品目は「特定要指導医薬品」として対象外に。

At a Glance

設立年月

2014年10月

従業員数（2025年7月）*1

518人

年間売上高（FY2025予想）

18,400百万円

ARR（2025年6月末）*2

12,860百万円

課金カメラ台数（2025年6月末）*3

31.9万台

*1 各月初の人数

*2 ARR：Annual Recurring Revenue。各四半期末時点のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍して算出。
MRRは対象月末時点における継続課金となる契約に基づく当月分の料金の合計額（販売代理店経由の売上を含む）

*3 各四半期に販売したカメラ台数ではなく、各四半期末時点で稼働・課金しているカメラ台数

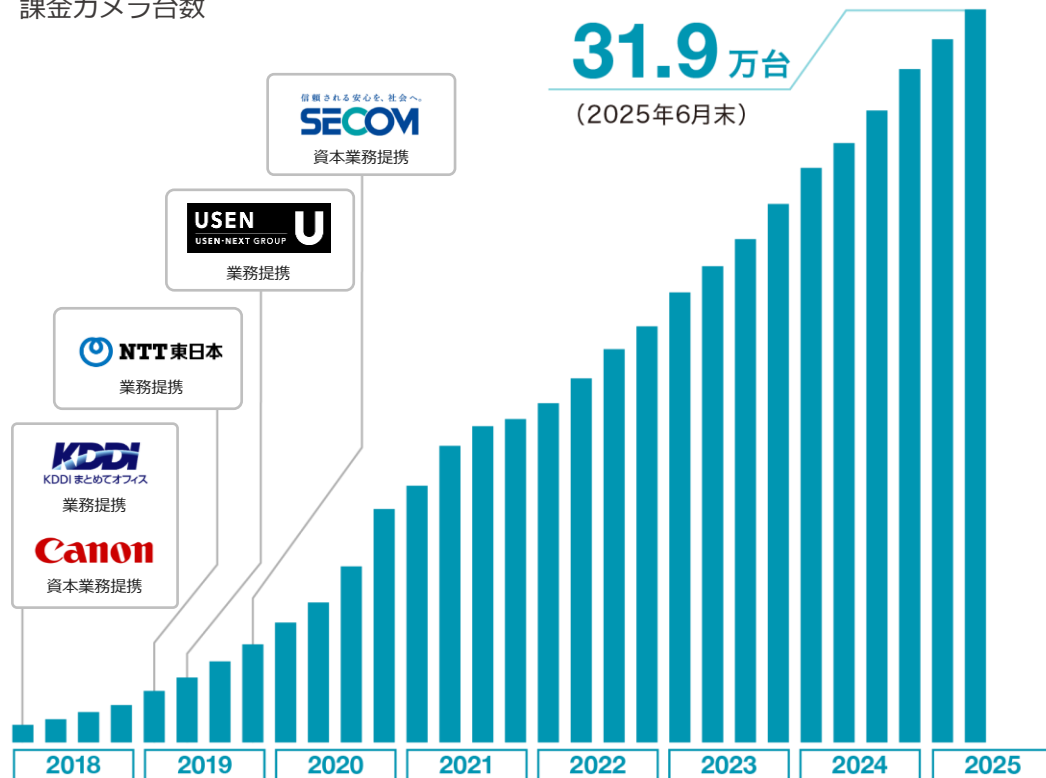
製品・サービスの概要



- 01  クラウドドリブンのカメラOS
- 02  強固なセキュリティ
- 03  誰もが使える高品質なUI・UX
- 04  拡張性の高いプラットフォーム

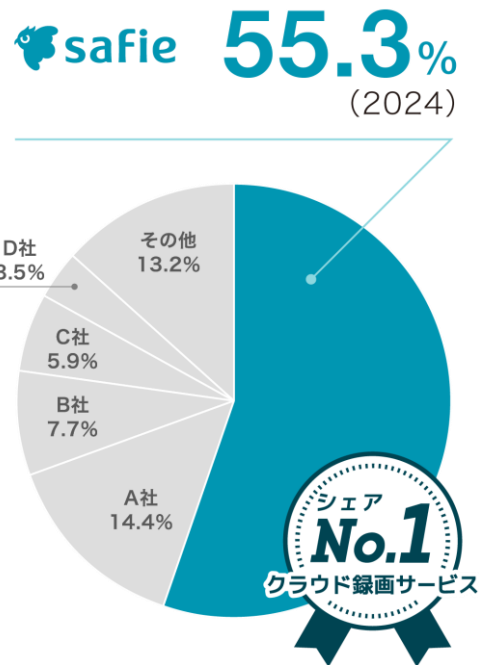
課金カメラ台数及び主な提携実績

課金カメラ台数



マーケットシェア

クラウドモニタリング・録画サービスシェア*1



*1 テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査（2024）」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア（55.3%）

小売 / サービス



飲食



建設



インフラ / 公共



製造・プラント



物流



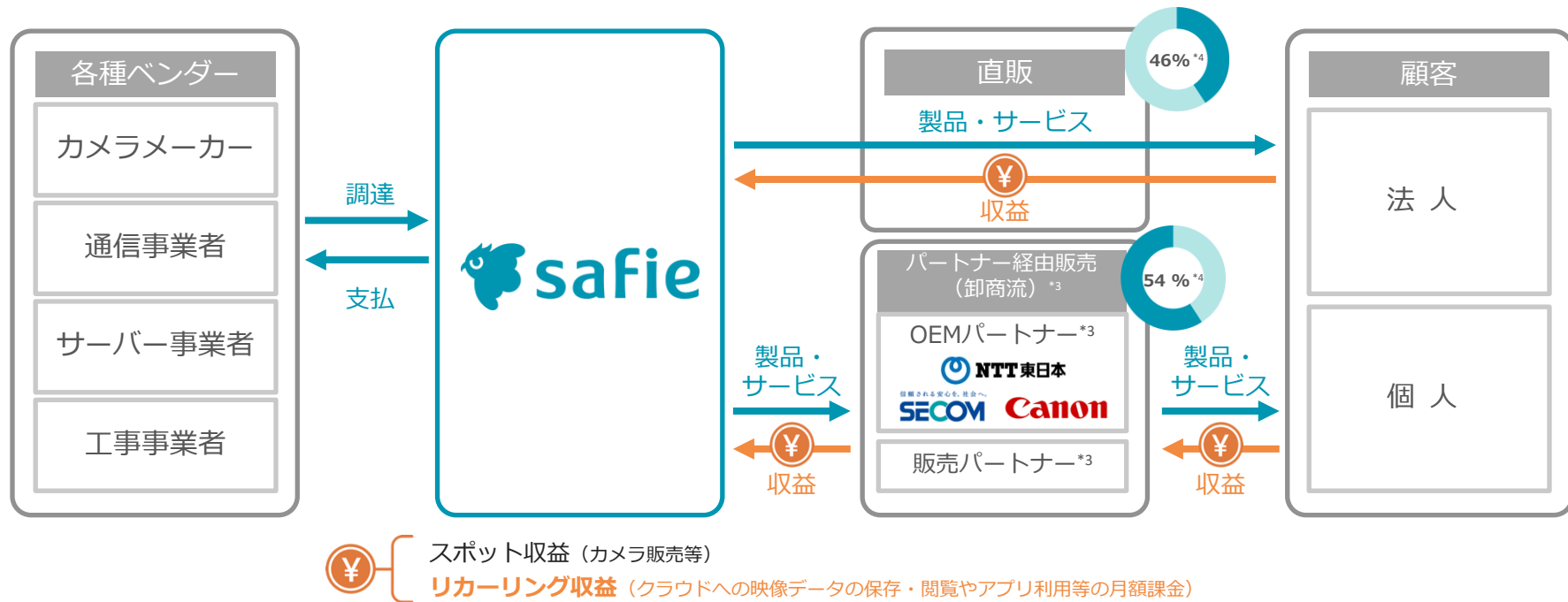
オフィスビル



警備



当社は、カメラ*¹を直接またはパートナー経由で販売するとともに、クラウド録画サービス*²を提供



*¹ 当社はカメラの製造は行なっており、(自社ブランドカメラも含め) メーカーからカメラを調達

*² 当社は自社でインフラ等全てのクラウド環境を構築しているわけではなく、大手クラウドベンダーのサービスを利用しつつ、映像データの保存・閲覧サービスを提供

*³ 「OEMパートナー」とは、当社からクラウドサービスとカメラ (もしくは前者のみ) を仕入れ、利用者にパートナーのブランド名称で再販するパートナーを指す。

「その他販売パートナー」とは、当社からクラウドサービスとカメラ (もしくは前者のみ) を仕入れ、利用者にSafieブランドのまま再販するパートナーを指す。一部のパートナーでは弊社からのカメラ販売は発生しない

*⁴ セーフイー株式会社 (単体) ベースの数値



佐渡島 隆平

代表取締役社長CEO

1999年 12月 Daigakunote.com創業（CEO）
2002年 4月 ソネット株式会社
（現 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式
会社）入社
2010年 10月 モーションポートレート株式会社入社（CMO）
2014年 10月 セーフィー株式会社創業
2020年 12月 Forbes日本の起業家ランキング2021 第1位



森本 数馬

取締役 開発本部本部長 兼 CTO

2001年 3月 東京大学工学部応用物理 物理工学科卒業
2001年 4月 ソニー株式会社入社
2012年 8月 グリー株式会社入社
（現 グリーホールディングス株式会社）入社
2013年 11月 モーションポートレート株式会社入社
2014年 10月 セーフィー株式会社創業



古田 哲晴

取締役 経営管理本部本部長 兼 CFO

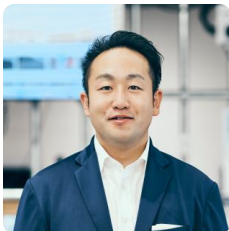
2006年 4月 McKinsey&Company Inc.入社
2010年11月 株式会社産業革新機構入社
2017年 3月 当社入社 経営管理本部長兼CFO（現任）
2019年10月 当社取締役（現任）



岩田 彰一郎

社外取締役

1973年 3月 ライオン油脂株式会社（ライオン株式会社）入社
1986年 3月 プラス株式会社入社
1992年 5月 同社 営業本部アスクル事業推進室室長
1997年 3月 アスクル株式会社 代表取締役社長
2000年 5月 同社 代表取締役社長兼CEO
2006年 6月 株式会社資生堂 社外取締役
2008年 4月 公益社団法人経済同友会 副代表幹事
2012年 4月 同会 幹事
2019年 9月 株式会社フォース・マーケティングアンドマネージメント
代表取締役社長（現任）
2020年 8月 当社 社外取締役（現任）
2021年 6月 エステー株式会社 社外取締役（現任）
2021年 9月 Arithmer株式会社 社外取締役（現任）
2022年 5月 株式会社Hacobu 社外取締役（現任）



桜田 忠弥

執行役員 営業本部本部長 兼 CRO

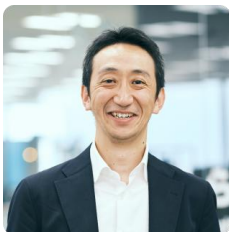
2009年 3月 早稲田大学国際教養学部卒業
2009年 4月 光通信株式会社入社
2010年 10月 楽天株式会社入社 (現 楽天グループ株式会社)
2013年 7月 寿スピリッツ株式会社入社
2020年 3月 セーフィー株式会社入社
2025年 1月 当社執行役員



白石 久也

執行役員 企画本部本部長 兼 CPO

1997年 4月 TDCソフト株式会社入社
2002年10月 ヤフー株式会社入社
2018年 6月 株式会社 GYAO 取締役
2021年10月 Z Entertainment 株式会社 CPO 室長
2022年 6月 当社入社
2023年 1月 当社執行役員



西村 宣昭

執行役員 営業本部副本部長 兼 VPoS

2001年 4月 オリックス株式会社入社
2018年 5月 ORIX Corporation USA出向
2022年 5月 当社入社
2023年 1月 当社執行役員



植松 裕美

執行役員 AIソリューションプラットフォーム推進室 室長

1999年 3月 北海道大学大学院量子物理工学専攻修了
1999年 4月 株式会社日立メディコ
(現 富士フイルムヘルスケアマニュファクチャリング
株式会社) 入社
2006年11月 ソニー株式会社入社
2015年 1月 株式会社スボットライト
(現 楽天ペイメント株式会社) 入社
2017年 9月 アマゾンジャパン合同会社 入社
2020年 2月 当社入社
2021年 4月 当社企画本部企画部部長
2021年12月 当社執行役員



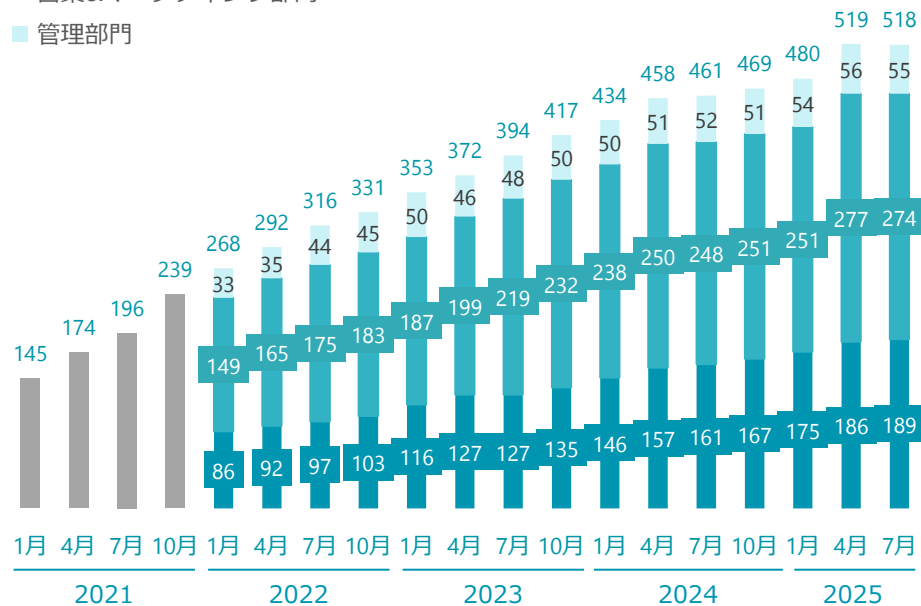
中村 晋也

執行役員 カスタマーサービス本部本部長 兼 CCO

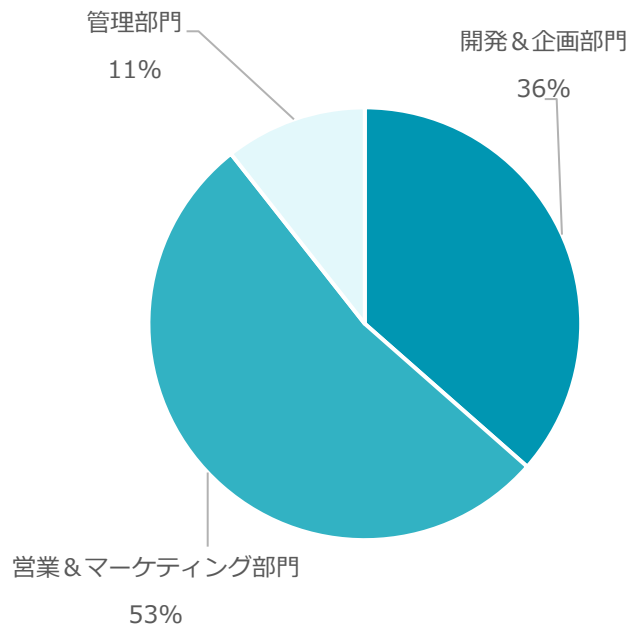
2001年10月 株式会社アイティ・イット
(現 エクシオ・システムマネジメント株式会社) 入社
2007年 3月 ソネット株式会社
(現 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社) 入社
2020年 4月 当社入社 オペレーション部部長
2021年12月 当社執行役員

社員数の推移*1

- 全体
- 開発&企画部門
- 営業&マーケティング部門
- 管理部門

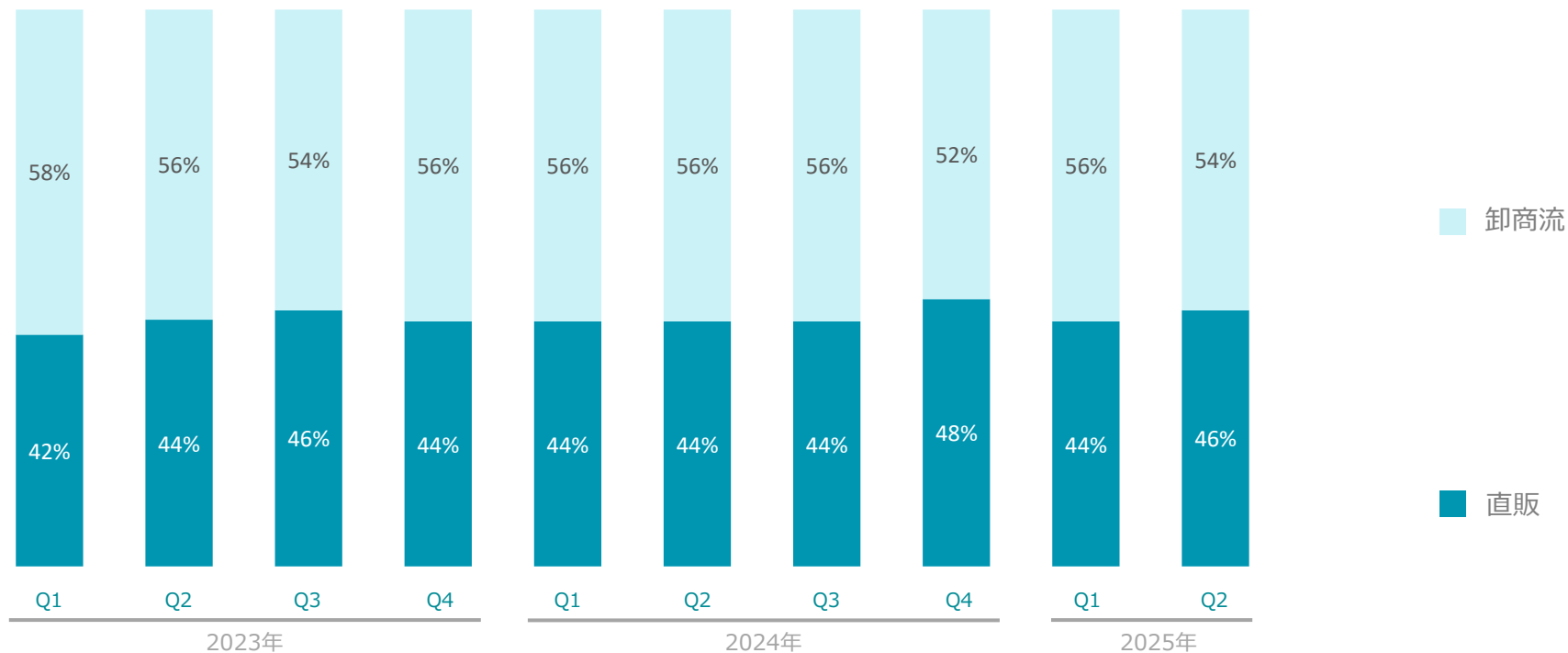


人員構成

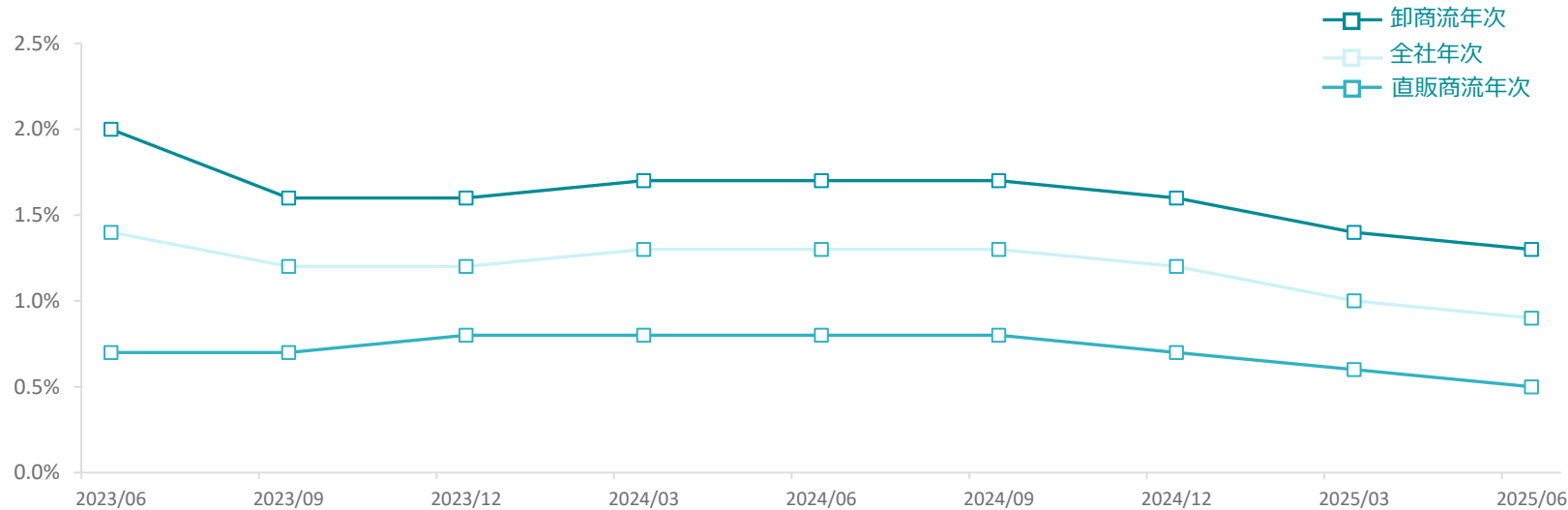


*1 各月初の人数

売上高構成比（四半期）



Safie PRO 12ヶ月平均課金カメラ解約率（台数ベース）



	2023/6	2023/9	2023/12	2024/3	2024/6	2024/9	2024/12	2025/3	2025/6
卸商流	1.6%	1.7%	1.7%	1.7%	1.6%	1.4%	1.3%	1.2%	1.2%
直販商流	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.7%	0.6%	0.5%	0.5%	0.4%
全社	1.2%	1.3%	1.3%	1.3%	1.2%	1.0%	0.9%	0.9%	0.8%

業界	潜在拠点数	想定設置台数*1	潜在カメラ台数
飲食業	140万拠点*2	約4台	約562万台
小売業	88万拠点*3	約10台	約880万台
サービス業（宿泊業以外）	43万拠点*4	約4台	約173万台
サービス業（宿泊業）	5万拠点*4	約10台	約51万台
建設業	30万拠点*5	約5台	約150万台
住宅業	221万拠点*6	約1台	約221万台
製造・物流業	26万拠点*7	約10台	約260万台
インフラ/公共業	199万拠点*8	約3台	約598万台
金融業	16万拠点*9	約3台	約50万台
駐車場	556万拠点*10	約1台	約556万台
病院・介護施設・教育施設	27万拠点*11	約10台	約277万台
事務所	26万拠点*12	約3台	約78万台
マンション	12万拠点*13	約4台	約49万台
エレベーター	77万拠点*14	約1台	約77万台
ビル（オフィス）	1万拠点*15	約50台	約52万台
合計	1,467万拠点	-	約4,034万台

*1 1拠点あたり想定設置台数 過去の事業経験等を踏まえた当社の試算値、*2 厚生労働省「令和5年度衛生行政報告例」に記載の飲食店営業施設数（2024）、*3 経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査結果（卸売業、小売業）」に記載の小売業の事業所数（2021）、*4 「アミューズメント産業の実態調査 2021年度」に記載のアミューズメント施設店舗数（2023）、警察庁「令和5年における風俗営業等の現状と風俗関係事犯等の取扱い状況について」に記載のバチンコ/パチスロ店舗数（2024）、文部科学省「令和3年度社会教育統計の公表について」に記載の図書館数、博物館数（2023）の合計、厚生労働省「令和5年度衛生行政報告例の概況」に記載の公衆浴場数（2024）及び理容室・美容室数（2024）、ホテル数（2024）及び旅館数（2024）、*5 国土交通省「建設工事受注動態統計調査報告（令和5年計分）」に記載の公共機関からの受注工事件数（2024）、*6 国土交通省「建築物工統計調査報告 時系列一覧」に記載の新設住宅着工数（2025）、「建築物リフォーム・リニューアル調査報告（概要）」に記載の工事受注件数（2022）*7 経済産業省「2023年経済構造実態調査」に記載の工場・作業場（2024）及び物流センター推定数（2024）の合計、*8 資源エネルギー庁公表の自然エネルギー発電設備総数（2019）、「船舶総数データ付全国港湾・駅データベース」に記載の鉄道等の駅数（2025）、水道技術研究センター「水道ホットニュース」に記載の水道・浄水場数（2021）、国土交通省公表の下水道処理場数（2024）及び河川管理施設数（2024）の合計、*9 「2023年版決済統計年報」に記載の金融（銀行店舗数 2022-2023）、全国信用組合主要動定及び系統債、用事業の現状と農林中央金庫の役割 他に記載の金融（ATM数 2023）の合計、*10 国土交通省「自動車駐車場年報 令和5年度版（2023年）」に記載の駐車場総共用台数（2023）、*11 厚生労働省「令和5年度医療施設（動態）調査・病院報告」に記載の医療施設数（2023）と、厚生労働省「令和5年度社会福祉施設等調査」に記載の有料老人ホーム数（2023）、文部科学省「令和6年度学校基本調査（確定値）」に記載の学校数（2024）及び幼稚園数（2024）、こども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ（令和5年4月1日）」の保育所（2023）及び他保育施設数（2023）の合計、*12 国土交通省「2023年法人土地・建物基本調査」に記載の主な利用現況が事務所の建物件数（2024）、*13 一般社団法人マンション管理業協会「令和6年マンション管理受託動向調査結果概要」に記載のマンション棟数（2024）、*14 一般社団法人日本エレベーター協会「2022年度昇降機設置台数等調査結果報告」に記載のエレベーター保守台数（2023）、*15 一般財団法人日本不動産研究所「【公表資料】全国オフィスビル調査（2023年1月現在）」に記載のオフィスビル件数（2023年）

連結貸借対照表

(単位 千円)	2024年12月末	2025年6月末		2024年12月末	2025年6月末
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	6,799,232	6,039,701	買掛金	1,094,652	942,843
売掛金及び契約資産	2,236,238	2,215,179	1年内返済予定の長期借入金	1,656	1,582
電子記録債権	12,600	13,900	未払法人税等	75,450	155,688
商品	789,745	1,258,412	賞与引当金	186,480	66,125
その他	413,504	519,857	その他	1,050,281	852,401
貸倒引当金	△4,995	△5,354	流動負債合計	2,408,521	2,018,640
流動資産合計	10,246,326	10,041,695	固定負債		
固定資産			長期借入金	892	—
有形固定資産	487	822	その他	45,507	46,420
投資その他の資産	776,675	691,490	固定負債合計	46,399	46,420
固定資産合計	777,163	692,313	負債合計	2,454,920	2,065,060
繰延資産	598	1,097	純資産の部		
資産合計	11,024,087	10,735,106	株式資本		
			資本金	5,617,220	5,643,665
			資本剰余金	8,102,602	8,129,047
			利益剰余金	△5,194,555	△5,156,581
			自己株式	△216	△233
			株主資本合計	8,525,050	8,615,897
			その他の包括利益累計額		
			その他有価証券評価差額金	12,478	10,125
			繰延ヘッジ損益	—	△16,652
			為替換算調整勘定	△3,238	△2,501
			その他の包括利益累計額合計	9,240	△9,028
			新株予約権	12,720	25,273
			非支配株主持分	22,156	37,904
			純資産合計	8,569,167	8,670,046
			負債純資産合計	11,024,087	10,735,106

調整後営業利益（調整表）

(百万円)	2020				2021				2022				2023				2024				2025	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
営業利益	△147	△111	6	132	63	31	△56	△115	△218	△384	△281	△398	△182	△256	△399	△252	△99	△203	△64	△214	△20	△50
+)株式報酬費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	6	6	8	10	8	8	11	13	12	15	17
+)M&Aにより生じた 無形資産の償却費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+)その他一過性費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	109
調整後営業利益	△147	△111	6	132	63	31	△56	△115	△218	△379	△275	△391	△176	△247	△389	△244	△90	△191	△50	△201	59	75

- 本資料は、当社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社グループの発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料には、当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報をもとに、本資料は作成時点における当社グループの判断に基づいて記載したものであり、また、一定の前提の下になされています。そのため、これらの記述または前提の、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の結果はこれと大幅に異なる可能性があります。したがって、これらは将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。
- なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社グループは、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。
- また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報または第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報は正確性・適切性等について、当社グループは何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。



セーフィー IRの最新情報をお届けしています。

note



IR monthly Report

https://note.com/safie_ir/



LINEの友だち登録

<https://lin.ee/IUsP4I7>

IRに関するお問い合わせ：ir@safie.jp

IRサイト：<https://safie.co.jp/ir/>

サステナビリティご紹介ページ：[https //safie.co.jp/csr/](https://safie.co.jp/csr/)